

愛剣連発第42号
令和2年7月16日

各地区剣道連盟御中
各関係団体御中

一般財団法人愛知県剣道連盟
理事長 祝 要 司

新型コロナウイルス感染者増加状況下における 剣道稽古の取組みについて～感染防止対策の徹底（依頼）～

新型コロナウイルス感染症について、昨日東京都では感染警戒度が最高レベルに引き上げられ、愛知県内でも16人の感染者が確認されました。ここ数日、日を追うごとに全国で感染の拡大が報道されています。

会員の皆様におかれましては、剣道稽古を徐々に再開し、現在は「愛剣連ガイドライン ステップ2」の段階であると思います。このステップ2は、飛沫防止対策用の面（面マスク必須）を着用し、短時間で少しずつ対人稽古を始めている段階です。

現在の全国的な感染者増加状況を受けまして、一般財団法人愛知県剣道連盟では、今一度会員の皆様方に「感染防止のための十分な対策」と「稽古に対する慎重な姿勢」をお願いしたいと存じます。

①道場内を常に換気する。②密集を避け、相互に約2mの間隔を保つ。③稽古中の発声は極力抑え、鏝ぜり合いや体当たりをしない。以上の点に気を付けながら、熱中症にならないように、こまめな休憩（約15分ごとに5分程度）を取り、無理をしないで慎重に稽古を行っていただきたいと思います。

8月末には剣道六・七段、居合道六・七・八段の全国審査会が行われ、9月以降は県内でも秋季の審査会を実施する予定です。新型コロナウイルス感染症感染拡大を防ぎ、安全に剣道活動を営むことができるよう、皆様方のご理解、ご協力を何卒お願いいたします。